

# 特許協力条約

PCT

REC'D 09 FEB 2006	
WIPO	PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条)

[PCT 36 条及び PCT 規則 70]

出願人又は代理人 の書類記号 K-85Carbide	今後の手続きについては、様式 PCT/IPEA/416 を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/012872	国際出願日 (日.月.年) 30.08.2004	優先日 (日.月.年) 29.08.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. G02B5/128(2006.01), B32B7/02(2006.01), B32B27/32(2006.01)		
出願人 (氏名又は名称) 日本カーバイド工業株式会社		

<p>1. この報告書は、PCT 35 条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第 57 条 (PCT 36 条) の規定に従い送付する。</p> <p>2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で <u>3</u> ページからなる。</p> <p>3. この報告には次の附属物件も添付されている。</p> <p>a. <input checked="" type="checkbox"/> 附属書類は全部で <u>2</u> ページである。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT 規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)</p> <p><input type="checkbox"/> 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙</p> <p>b. <input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第 802 号参照)</p>	
<p>4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 I 欄 国際予備審査報告の基礎</p> <p><input type="checkbox"/> 第 II 欄 優先権</p> <p><input type="checkbox"/> 第 III 欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成</p> <p><input type="checkbox"/> 第 IV 欄 発明の単一性の欠如</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 第 V 欄 PCT 35 条 (2) に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VI 欄 ある種の引用文献</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VII 欄 国際出願の不備</p> <p><input type="checkbox"/> 第 VIII 欄 国際出願に対する意見</p>	

国際予備審査の請求書を受理した日 28.06.2005	国際予備審査報告を作成した日 20.01.2006	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号	特許庁審査官 (権限のある職員) 森口 良子	2V 9125
		電話番号 03-3581-1101 内線 3271

様式 PCT/IPEA/409 (表紙) (2005 年 4 月)

## 第 I 欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
- ☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である \_\_\_\_\_ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
- ☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
- ☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
- ☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条 (PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 \_\_\_\_\_ 1-29 \_\_\_\_\_ ページ、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ\*、 \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 \_\_\_\_\_ 2, 4-13 \_\_\_\_\_ 項、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 \_\_\_\_\_ 1, 3 \_\_\_\_\_ 項\*、28.06.2005 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ 項\*、 \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 \_\_\_\_\_ 1-8 \_\_\_\_\_ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

第 \_\_\_\_\_ ページ/図\*、 \_\_\_\_\_ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項
- ☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ
- ☐ 請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項
- ☐ 図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図
- ☐ 配列表 (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_
- ☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) \_\_\_\_\_

\* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、  
それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-13	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲	1-13	有
	請求の範囲		無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-13	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲第1-13項に係る発明は、国際調査報告で引用されたいずれの文献にも記載も示唆もされていない。

請求の範囲

1. (補正後) 少なくとも表面層と再帰反射素子層とを包含する再帰反射シートであって、該再帰反射シートは、脂環式ポリオレ  
5   フィン樹脂または脂環式アクリル樹脂から成る少なくとも一層の破壊層を包含しており、かつ該再帰反射シートは、さらに、表面層上に接着剤層を設けて、基材に貼着させた後に、基材から強制的に剥離させたとき、該接着剤層と焦点調節層の間のいずれかの層または層の間で、該破壊層との界面での剥離および／または  
10   該破壊層の破壊、または焦点調節層と鏡面反射層との間で該破壊層の破壊により剥離するか、または、該再帰反射シートは、さらに、鏡面反射層側に接着剤層を設けて、基材に貼着させた後に、基材から強制的に剥離させたとき、表面層と焦点調節層の間のいずれかの層または層の間で該破壊層と該破壊層と接する層との  
15   界面での剥離および／または該破壊層の破壊、または、焦点調節層と鏡面反射層との間で該破壊層の破壊により剥離することを特徴とする破壊層の設置された再帰反射シート。

2. 請求項1記載の再帰反射シートの光入射側表面の上、または、該再帰反射シートの光入射側の反対側に、更に接着剤層を設置し  
20   たことを特徴とする破壊層の設置された再帰反射シート。

3. (補正後) 少なくとも表面層と再帰反射素子層と接着剤層を包含する再帰反射シートであって、該再帰反射シートは、脂環式ポリオレフィン樹脂または脂環式アクリル樹脂から成る少なくとも一層の破壊層を包含しており、かつ該再帰反射シートは、さ

らに、表面層上に接着剤層を設けたものであるときは、基材に貼  
着させた後に基材から、強制的に剥離させたとき、該接着剤層と  
焦点調節層の間のいずれかの層または層の間で該破壊層との界  
面での剥離および／または該破壊層の破壊、または焦点調節層と  
5 鏡面反射層との間で該破壊層の破壊により剥離するか、または、  
該再帰反射シートが鏡面反射層側に接着剤層を設けたものでは  
あるときは、基材に貼着させた後に、基材から強制的に剥離させ  
たとき、表面層と焦点調節層の間のいずれかの層の間で該破壊層と  
該破壊層と接する層との界面での剥離および／または該破壊層  
10 の破壊、または、焦点調節層と鏡面反射層との間で該破壊層の破  
壊により剥離することを特徴とする破壊層の設置された再帰反  
射シート。

4. 該破壊層を構成する樹脂が、シクロペンタン系樹脂（下記式  
1 a、1 b、1 c）、ビニルシクロペンタン系樹脂（下記式 2 a）、

15

20

## Application Number Information

Application Number: 10/569869

### Assignments

Filing or 371(c) Date: 00/00/0000 eDan

Effective Date: 02/28/2006

Application Received: 02/28/2006

Patent Number:

Issue Date: 00/00/0000

Date of Abandonment: 00/00/0000

Attorney Docket Number: 00250.000034

Status: 19 /APPLICATION UNDERGOING PREEXAM PROCESSING Status Date: 03/07/2006

Confirmation Number: 9753

Title of Invention: RETROREFLECTIVE SHEETING PROVIDED WITH DESTRUCTIVE LAYER

Examiner Number: 00000 /,

Group Art Unit: 2872

IFW Madras

Class/Subclass: 359/530.000

Lost Case: NO

Interference Number:

Unmatched Petition: NO

L&R Code: Secrecy Code:1

Third Level Review: NO

Secrecy Order: NO

Oral Hearing: NO

Bar Code	PALM Location	Location Date	Charge to Loc	Charge to Name	Employee Name	Location
----------	---------------	---------------	---------------	----------------	---------------	----------

Appln  
Info

Contents

Petition Info

Atty/Agent Info

Continuity/Reexam

Foreign Data

Search Another: Application #

Search

or Patent#

Search

PCT /

Search

or PG PUBS #

Search

Attorney Docket #

Search

Bar Code #

Search

To go back, right click here and select Back. To go forward, right click here and select Forward. To refresh, right click here and select Refresh.

Back to [OASIS](#) | Home page

[http://EXPOWEB1:8001/cgi-bin/expo/GenInfo/snquery.pl?APPL\\_ID=10569869](http://EXPOWEB1:8001/cgi-bin/expo/GenInfo/snquery.pl?APPL_ID=10569869)